|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 老年看護学概論 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 15時間 |
| 担 当 者 | 福川　大介(臨床経験7年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | １学期 |
| 目的 | １．高齢者の身体的・精神的・社会的側面の変化が高齢者の生活や健康に及ぼす影響と高齢者のQOLを関連づけて高齢者を支える看護を学ぶ。２．高齢者を支える制度や社会資源の看護の場における活用方法を学ぶ。 |
| 科目目標 | １．高齢者の身体的･精神的･社会的変化が健康課題に及ぼす影響が理解できる。２．高齢者のQOLに着目した看護が理解できる。３．社会構造の変化・高齢化に伴う高齢者の保健福祉の活用方法が理解できる。 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回2回3回4回5回6回7回8回 | 1. 高齢者の理解

　　１）老いるということ２）老年期を生きる人々の特徴２．老年期を生きる人々の特徴　　１）身体機能の生理的変化２）精神・社会的変化３．超高齢者社会と社会保障　　１）高齢者の健康と意義２）統計について３）高齢社会における保健医療福祉の動向４）権利擁護４．老年看護のなりたち１）老年看護の役割特徴について　　２）老年看護における倫理・概念５．高齢者のヘルスアセスメント　　１）ヘルスアセスメントの基本　　２）身体的加齢変化とアセスメント６．終了試験（45分） | 講義グループワークグループワーク発表講義講義講義講義講義 |
| 准看時授業内容 | 老年看護 |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門分野　老年看護学』医学書院『系統看護学講座　老年看護病態・疾患論』医学書院参考書：『国民衛生の動向』財団法人厚生統計協会 |
| 評価方法 | 出席状況、学習成果物、筆記試験 |
| 関連科目 | 老年看護援助論、老年看護技術論、社会福祉、看護倫理、地域・在宅看護概論 |
| 備考 | １．加齢現象を踏まえた高齢者理解ができるために、学習方法にグループワークを取り入れます。２．学習の過程で、高齢者のQOLを考えた看護を意識しながら学んでいきましょう。 |